

授業実践を募集します！

日本家庭科教育学会新本出版委員会

小、中、高校の学習指導要領が出そろい、今後の家庭科教育をどのように充実させていくか、様々な議論が起こっています。このような時に、家庭科教育に携わる教師、研究者はもとより、他教科、教育関係者、社会全体に対して家庭科の実力を示し、より充実した家庭科を実現していく発信力となるものをつくりたいと考え、新本の出版を企画しました。

新しく企画する本はⅡ部構成になっています。第Ⅰ部は、学会が2016年に実施した全国調査(高校生調査、社会人調査)に基づいています。調査結果からは、学習者にとって家庭科の学びが人生を豊かにする上で役立つこと、もっと多くを学びたいという意欲等、家庭科の重要性と更なる充実の必要性が明らかになりました。第Ⅰ部では、それらの結果を紹介し、そこから家庭科の達成してきたこと、可能性を読み解いていきます。

そして、第Ⅱ部では、会員のみならずから広く授業実践を提供していただき、理論と実践が繋がり、実践を通してさらに新しい理論がつけられるという循環を示し、これからの社会を生きる上で必要不可欠であると誰もが納得できるような家庭科を一緒に創り上げる道筋を示したいと考えています。

そこで、広く会員のみなさまに授業実践を募集します！

活動を通して子どもたちに考えさせる探究型実践、これからの家庭科の展開のヒントとなるような実践を寄せてください。以下に概要を述べます。

- ①研究者と共同での応募、授業実践者単独での応募、いずれでも結構です。
- ②寄せられた応募の中から、内容、校種、領域等のバランスを考慮して、最終的に10事例程度を選出させていただきます。選出した実践について、原稿依頼の連絡をいたします。

＊原稿分量は6頁(42字×34行)程度

③ 応募方法

HPから申請シートをダウンロードし、そのフォーマットにそって申請してください。

④申請は以下の要領をお願いします。

メール件名：授業実践申請(お名前)

添付ファイル名：上記と同様 授業実践申請(お名前)

申請先アドレス：担当の工藤と学会事務局両方にお送りください。

工藤 kudo-yukiko-gr@ynu.jp

Cc 学会事務局 kateika@amethyst.broba.cc

＊一両日中に担当から受領の返信をします。

数日たっても受領の返信が無い場合にはお問い合わせください。

⑤スケジュール概要

申請シートの応募期間(7月末)

申請に基づく実践の決定と原稿執筆依頼(8月初旬)

原稿締切 9月末

♪たくさんのお待ちしています♪

本件問い合わせ：研究推進副会長 工藤 kudo-yukiko-gr@ynu.jp